

昨年は大変お世話になり、ありがとうございました。とりわけ10月31日の衆議院選挙では力強いご支援を賜り、お陰様で国政に復帰できました。引き続き、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2年近く新型コロナにより窮屈な生活を強いられましたが、今年が皆様にとって良い年になることを心よりお祈り申し上げます。そして医療現場で奮闘している医療関係者の皆様には心から敬意を表し、感謝申し上げたいと思います。

オミクロン株の脅威度については医学的にはまだ分析し切れません。ただ、いえることは、**新型コロナが風土病化しない限りは、不確実な時代がつづく**ということです。専門家によると、今年中には落ち着くという予測が出ているので、これに期待するしかありません。

スペイン風邪と新型コロナの間には一世紀の間隔がありました。しかし、**今後については、人の国際移動が激しくなり、人口密度の高い都市が増えれば、病原菌が栄えます。人間と野生動物の生活圏がかつてなく接近している中で、動物由来感染症にも注意が必要な時代となりました。**

また、**新型コロナにより経済生活などの変化が加速しました。ズーム会議がこんなに普及し、ネット販売が主流になると誰が想像できたか。**そもそも印刷や電信技術などが世界に普及するのに何十年も何百年もかかりましたが、スマートフォンはたったの15年で世界人口の半分が使うようになっています。

これに加え、日本は例外であるものの、**各国のコロナ対策としての財政出動と供給の制約により、各国平均5%以上の物価上昇が起こっています。フィンテック、中央銀行による通貨の電子化、暗号資産などの技術革新が爆発している中で、今後の産業経済の見通しも不確定です。**

他方で、我が国は、こうした激しい変化にどこまでついて行っているのでしょうか。もっといえば、若い世代の人口が減少し、国力が衰えつつけています。日米同盟と中国や北朝鮮との「力の均衡」が不利な方向に傾いています。

国民の生命・財産・文化を守るうえで、政治はあまりにも視野の狭い事柄にかまけています。**大きな変革により、祖国再建のための新しい政治体制と政策実行が急務となっています。**